

平成30年度山都町包括医療センターそよう病院決算の点検・評価について公表します。

平成30年度の病院事業は、入院・外来については患者数の大幅減と一人当たりの単価も下がったことにより収入減となりました。

入院収入は、入院患者数が延べ患者数において1,273名（対前年度比7.43%減）減って、患者一人当たり単価も332円の減となり、前年度比39,176千円減の417,223千円（対前年度比8.58%減）の収入となりました。外来においては、医科・歯科合わせて患者数が2,851名（対前年度比6.08%減）減となり、27,165千円減の355,461千円（対前年度比7.10%減）の収入となりました。

支出では、前年度より経費が141,771千円と11,977千円増、給与費が596,267千円と12,667千円の増、減価償却費が71,718千円と5,863千円の減、医業外費用が63,670千円と9,793千円の増でした。

医業収益は851,715千円（対前年比8.17%減）、医業費用924,873千円（対前年度比1.58%増）、総収益992,149千円（対前年度比7.92%減）、総費用990,578千円（対前年度比2.54%増）となり、差引き1,571千円の黒字決算となりました。

今後も、へき地医療拠点病院及び二次医療施設として良質な医療を提供していくと共に、健全経営の維持に向け努力します。

1. 収支状況

	平成29年度			平成30年度			点 検	評 価
	目標値	実績	達成率	目標値	実績	達成率		
経常収支比率	103.0%	111.5%	108.3%	102.8%	100.2%	97.5%	(経常収益／経常費用) $\times 100$ 病院が安定した経営を行うための指標であり、総収益と総費用との割合で事業活動の能力を表す指標。	平成28年度から3カ年連続の黒字決算により、財政的には安定した状況ではあるが人口減少と共に年々外来患者数は減少している。 平成30年度は入院・外来患者数の大幅減と一人当たりの単価が下がったこともあり、前年度と比較するとかなりの収入減となったが、訪問看護回数の増、嘱託職員の業務見直し等にて黒字経営を維持している。
医業収支比率	92.3%	101.9%	110.4%	92.4%	92.1%	99.7%	(医業収益／医業費用) $\times 100$ 医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標であり、医業活動の能力を表す指標。	
病床利用率	77.2%	82.4%	106.7%	78.9%	76.3%	96.7%	(年延入院患者数／年延病床数) $\times 100$ 病院の施設が有効に活用されているかどうかを判断する指標。	
職員給与費比率	69.6%	62.9%	90.4%	69.0%	70.0%	101.4%	(職員給与費／医業収益) $\times 100$ 病院において職員給与費は最も大きなウェイトを占める医業費用であり、医業収益と人件費の割合で職員数が適正かを判断する指標	
職員数	66人	67人	1人	65人	68人	3人		